

# 光と賑わい 新幹線高架ガードにおける、振動発光側壁と積層屋台



## ●「積層屋台」計画概略



高架ガード側壁高さ3000メートル。この高架ガードに、新幹線が走行している。近隣には、パチンコ屋等もある。軒下8メートル、狭い土地のスペースであり、現知は、大半がゴミ捨て、資材置き場、荒地である。近隣には住宅地、商店街が広がっている好立地の土地は上手く利用できていない。今回は、高架ガードの側面を観光しに來たり、近隣の人々が集まれるようにする。屋台を大中小のサイズを作り、用途の多様化と、防音室を一つ設置した。新幹線高架下の高さ8メートルの空間と、集客を考え、2層としている。



## ●「光壁」計画概略

新幹線高架ガードは、宇都宮中心街を横断し、高所8メートルを有しており、人の目にもつきやすい。今回、側壁には、振動によって発光する、LEDを張り巡らした。新幹線通行時、数秒間のみ点灯であり、常時点灯ではないので、夜間、景観に配慮した。電車が通る度に、光の道が壁を覆う。前方の田んぼからの水面による光の反射と、透明の電線が、互いに、光りあって、昼も楽しむことができる。



## ●場所

住所 栃木県宇都宮市今泉



栃木県宇都宮市今泉から車で10分以内。巨大ショッピングセンターより徒歩1分以内。近隣には、パチンコ屋等もある。主に、米、ねぎ等を農作している田んぼが広がる。新幹線が通行する高架ガード南北に横断している。

## ●人が集うには・・・

- ・目を惹く。
- ・多くの人々の目に入る土木構造物である。
- ・人々が集まる用途を持つ。
- ・人々が集まれるスペース、市街地からの交通便、駐車場の確保がある。

## ●提案

- ・新幹線高架ガードの側面に振動によって、発光するLED照明を設置する。新幹線が通過する事に発光する。
- ・宇都宮中心街を横断する軒下8メートルある、高架ガードに計画する。
- ・高架下に人々が集まれる、屋台村を計画する。
- ・高架下の未使用スペース。宇都宮駅からの交通便の良さ。巨大ショッピングセンター徒歩2分程度。高架下の駐車場を利用できる。

高架ガードの側面に、振動発光LEDによる、「光壁」を計画する。

高架下(狭い敷地、軒下8メートルの空間)に、「積層屋台村」を計画する。

